

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | |
|------|------------------------|
| 事業所名 | ふれあいファクトリー |
| 住所 | 東京都豊島区南池袋2-45-1豊島区役所4階 |
| 電話番号 | 03-3980-5020 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 1311601593 |
| 管理者名 | 近藤 友克 |
| 対象年度 | 令和3年度 |

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所 Caféふれあい

実施日程 自治体とのコラボフェア5回

はあとの木としての活動は常時行っている

実施した生産活動・施設外就労の概要

3年前から豊島区と連携し、交流都市などの食材を使用させていただき、店舗を活用してフェアを開催している。また、区内福祉施設ネットワーク「はあとの木」の活動を継続的に実施している。

利用者数 6名～7名（就労継続支援A型事業の利用者）

<目的>

店舗の売り上げ向上はもちろんであるが、社会的な貢献ということを念頭において実施している。自治体とのコラボフェアは3年前の長野県箕輪町を皮切りに、豊島区障害福祉課及び文化観光課と連携し、宮城県、宮城県登米市、栃木県那珂川町、沖縄県伊江島町の広報、宣伝の一環として、食材を使用したフェアを開催してきた。また、豊島区内の障害者福祉施設ネットワーク「はあとの木」としての活動としては、各事業所の物販販売の請負業務を引き続き行い、消費者との仲介を行っている。当店独自のクッキーやお菓子類も、企業等からの依頼を受けて、制作し、はあとの

<成果>

自治体とのコラボフェア開催により、多くのお客様が来店してくれた。店内には、パンフレットなども配置し、その地域ならではの食材やメニューを提供してきた。コロナ禍ということもあり、感染防止対策をとりながらのフェアの実施であったが、旅行ができない環境下で地方の名産に触れられる機会を多くの方に喜んでいただけた。地方都市の広報、住民間の交流に一役かっている。

また、はあとの木としての活動は、自主製品を作っている豊島区内の事業所の連携を深め、また、区民などを対象に障害者の活動や作品にふれることによる啓発を促してきた。店舗はその自主製品の販売の窓口機能を担っている。コロナ禍により活動が少なくなっていたが、新たな販売場所の開拓など、努力を継続している。

<活動の様子>



上の写真は沖縄県伊江島フェアと、北海道中富良野フェアの時の写真です。ご当地の名産品をメニュー化して提供致しました。

普段は、お弁当とランチなどで100食以上を売り上げており、サービス利用者の中から選ばれたリーダー、サブリーダーを中

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

- ・文化観光課との連携では、食を通じて交流都市の魅力をより深く周知する機会を提供している。実際に特産物に触れることにより、交流都市を身近に感じることができ、場を提供することで、豊島区に来庁している一般の方や区民の皆さまに対してアンテナショップのようにPRをしたり、区の職員に対しても交流都市に対する親近感を持たせることができている。
- ・障害福祉課が支援する共同受注ネットワークの取り組みとして、参加事業所の自主製品商品棚の在庫管理を含めた販売委託業務契約を結んでいる。常設で福祉事業所の自主製品を取り扱う商品棚があることで、自主製品ネットワーク事業の活動が広がる起点の一つとなっている。
- ・障害のある方が就労する場（A型事業所）を庁舎内で運営してもらうことで、豊島区がSDGsの取組みを進めている事を内外に発信することに貢献している。

今後の連携強化に向けた課題

- ・「Cafeふれあい」について豊島区役所に来庁している一般の方や、豊島区民の皆さまの認知度を高める取り組みを増やしてもらいたい。
- ・地域住民との交流イベントなどを開催し、地域と連携を強化してもらいたい。

| | | | |
|--------|-----|------|------|
| 連携先企業名 | 豊島区 | 担当者名 | 篠崎 萌 |
|--------|-----|------|------|